

歩みを止めず 2020年国民平和大行進 5月6日

東京・夢の島～広島コース 史上初めてオンライン出発式

「被爆75年は、被爆者と共に核兵器のない世界へ、人々の意思と行動で大きな転換点にしなければならぬ。声をあげ、歩ける場所では歩き、署名を集め前進しよう」

原水爆禁止2020年世界大会(オンライン)支持・賛同の訴え

2020年5月8日 原水爆禁止世界大会実行委員会総会

核兵器のない平和で公正な世界を求める内外のみなさん、

私たちは、広島と長崎への原爆投下から75年目にあたる8月6日と9日を中心に、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を — 人類と地球の未来のために」をテーマに原水爆禁止2020年世界大会をオンラインで開催します。

私たちは、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大とたちむかいながら、原水爆禁止運動の役割をどう果たすのか、議論をかさねてきました。そして、多くの人々が集えない困難な状況のもとでも、被爆者とともに、あらゆる手段をつくして核兵器廃絶を世界に訴えることを決めました。私たちは、この世界大会を制限、縮小を余儀なくされたものとは考えません。新しい条件と可能性をくみつけて、これまで以上に力強く、そして世界のより多くの人々に発信する大会として成功させる決意です。

大会では世界の反核運動の英知を結集して、今後の運動方向をしめしたいと思っています。そのための国際会議をオンラインで開催します。核兵器廃絶をめざす諸国政府、国連の代表も招待します。さらに、草の根からの国際的な連帯行動として、「平和の波」—核兵器廃絶を共通の目標とし、「ヒバクシャ国際署名」を共通の行動として、地球の自転に合わせて世界をまわる草の根の共同行動—を大会と呼応しておこなうことを呼びかけます。

内外のみなさんが、このよびかけに賛同し、参加を準備され、また、それぞれの国や都市、地域で実情に応じた多彩で創意的な行動を計画されるようよびかけます。

ことし2020年は、広島・長崎への原爆投下から75年、そして、世界が三度の戦争の惨害を防ぐことを決意し、国連を創設してから75年の節目に当たります。1946年1月、第一回国連総会は「各国の軍備から原子・大量破壊兵器の一掃」を決議し、戦後政治の方向を定めました。

国際政治の現実、世界が一致して定めた目標とかけ離れています。核軍備競争の結果、世界にはなお1万4千発を超える核兵器が蓄積、配備されています。アメリカなど核大国は、自国の利益第一を主張し、核軍備の近代化・増強を続けています。世界の軍事費は史上類例のない1兆9170億ドル(約200兆円)にも達し、なお増え続けています。世界中の人々が、気候変動や新型コロナ問題、社会的経済的格差・貧困など、危機に直面している最中にです。

国連のグテーレス事務総長が、「世界のあらゆる場所での即時停戦」をよびかけたように、いま緊急に求められるのは、「自国優先主義」などの対立や分断ではなく、国際協調と連帯です。紛争と戦争をやめ、核兵器をなくし、軍事費を削減し、新型コロナ対策、市民の生活、雇用・営業の支援を— この大きな平和と共同への転換、国連憲章の平和秩序に立つジェンダー平等で公正な、持続可能な世界が求められています。

いま、日本がなすべきことは、アメリカの核軍拡を支持し憲法改悪やアメリカ言いなりに戦闘機や迎撃ミサイルシステムを「爆買い」することではなく、沖縄の辺野古に米軍のための基地を造ることではありません。唯一の被爆国として核兵器禁止条約に入り、核兵器のない世界の実現のために先頭に立つことです。

友人のみなさん、

4月25日、史上はじめてオンラインで開かれた世界大会(世界大会「核兵器廃絶、気候危機の阻止と反転、社会的経済的正義のために」)は、世界が新型コロナウイルスの脅威に直面するも、強く求められているのは、分断や対立ではなく、市民社会を含めた国際的共同であること、活動が困難な時でも世界の市民がつながれば、大きなメッセージを発信できることを示しました。

この流れを生かし、被爆国の反核運動の共同をいっそう発展させましょう。

8月の2020年世界大会が、新たな共同を切り開く大会となるよう、「ヒバクシャ国際署名」をはじめ、多彩で創意的な活動を展開しようではありませんか。



長崎実行委員は、長崎⇒広島コースは、6月28日(日)平和公園を出発し、例年のように市・町を通過し、7月5日(日)に、三川内支所前で佐賀県との引き継ぎ集会。日程の変更はありません。全国通し行進者、外国からの青年リレーの行進者の参加はありません。

被爆の実相を世界に伝え、核兵器廃絶の世論を高める平和行進。各地区の実行委員会でも多彩で創意ある取り組みをしよう!。各地の計画や提案、問い合わせは下記のメールアドレスにお送りください。h-tanaka@aoba-en.jp 田中弘法です。

お知らせ

原水爆禁止長崎県協議会2020年度定期総会中止

2020年5月16日(土)14:00~16:30長崎市立図書館多目的ホール開催
予定の総会はコロナ感染拡大防止を考慮し中止します。

関係者には総会議案書を5月16日までにお届けします。

6月5日をめどに集約をしたいと考えています。

ご意見等メール、電話、ファックスなどでお寄せ下さい。ご協力ください。

原水爆禁止2020年世界大会(オンライン)成功を目指す運動、感染拡大とたちむかいながら、原水爆禁止運動の役割をどう果たすのか。創意と工夫が成功の鍵です。

- ・核兵器全面禁止・廃絶を求める声と行動、新たな共同のひろがりをつくろう。
- ・世界大会の支持・賛同・参加をひろげよう。
- ・「ヒバクシャ国際署名」(オンライン署名)をよびかけよう。
- ・草の根の声を集め、8月6日、9日のオンライン世界大会と「平和の波」行動を成功させよう。
- ・日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書採択を要請しよう。
- ・広島・長崎の被爆の実相を学び、知らせよう。
- ・パンフレット『核兵器のない世界を』(仮題)を学習し普及する。